カンボジア旅行について4

高橋　亮

皆さまこんにちは。今回も宜しくお願い致します。

ＩＫＴＴを後にした私達は、地雷博物館に伺いました。ここは、ポル・ポト派がこの国カンボジアを支配していた時、地雷をいたるところに埋めていたという、忌まわしい歴史を物語る、貴重な博物館でした。以前、お話させていただいたかもしれませんが、地雷による被害は、今なおこの国に暗い影を落としているようです。

この博物館の館長は、アキ・ラーさんという方で、このとき不在でしたが、嘗てポル・ポト派の兵士・クメールルージュの一員だった男性です。しかし、彼は時代が代わるにつれて、自らの過去の過ちを深く反省し、罪を贖うかのように、今現在は地雷を撤去する活動に勤しんでおられます。

ここまで、小生の拙文を読んでおられる読